

9 海外直接投資の状況

(1) 海外直接投資実施企業の動向

有効回答企業（121社）のうち、現在、海外直接投資を実施している企業は39社であり、全体に占める割合は32.2%である。そのうち今後も継続する見込みの企業は36社、今後は実施する意向はない企業は3社となっている。

(2) 海外直接投資未実施企業の動向

有効回答企業（121社）のうち、現在、海外直接投資を実施していない企業は82社であり、全体に占める割合は67.8%である。そのうち将来、実施を検討している企業は5社、今後も実施する意向のない企業が77社となっている。

海外直接投資の実績と計画

（単位：社）

業種	区分	現在海外直接投資を実施		現在海外直接投資を実施していない		
		今後も継続する見込み	今後は実施する意向はない	今後実施する計画がある	将来実施を検討している	今後も実施する意向はない
食料品製造業		35	3	0	5	70
外食産業		1	0	0	0	7
合計		36	3	0	5	77

[付表8-1 (p34) 参照]

(3) 海外直接投資の主たる目的

有効回答企業（44社）の海外直接投資の主たる目的をみると、国内向け生産拠点が12社（27.3%）、海外向け生産拠点が20社（45.5%）、原料・半製品の供給拠点が5社（11.4%）、販売拠点が4社（9.1%）である。

海外直接投資の主たる目的

（単位：社・%）

業種	海外直接投資の主たる目的						
	国内向け生産拠点	海外向け生産拠点	原料・半製品の供給拠点	販売拠点	財務拠点	その他	合計
食料品製造業	12 (27.9)	20 (46.5)	5 (11.6)	3 (7.0)	1 (2.3)	2 (4.7)	43
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1
合計	12 (27.3)	20 (45.5)	5 (11.4)	4 (9.1)	1 (2.3)	2 (4.5)	44

（注）（ ）内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したもの。

[付表8-2 (p34) 参照]

(4) 海外直接投資の対象地域

有効回答企業（42社）のうち、海外直接投資の対象地域は、東アジアが23社（54.8%）で最も多く、次いでアセアン11社（26.2%）、北米4社（9.5%）、西アジア4社（9.5%）となっている。

海外直接投資の対象地域

（単位：社・%）

業種	海外直接投資の対象地域								
	北米	中南米	東アジア	アセアン	西アジア	オセアニア	EU諸国	その他	合計
食料品製造業	4 (9.8)	0 (0.0)	22 (53.7)	11 (26.8)	4 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	41 (100.0)
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
合計	4 (9.5)	0 (0.0)	23 (54.8)	11 (26.2)	4 (9.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	42 (100.0)

（注）1 （ ）内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したもの。

2 東アジアは中国、韓国及び台湾を、アセアンはシンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー及びブルネイをいう。

[付表8-3 (p35) 参照]